

【文学部 国際教育学科 各入試の選抜方法等】

■ 前期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。第二次学力検査(個別学力試験等)は実施しません。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力試験等教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目			配点	個別学力試験	個別学力試験の配点
		教科	科目	科目選択方法			
前期一般選抜	3教科3科目	国語	「国語」	(必須)		100	課さない
		地理歴史	「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」	1科目選択	1科目選択	100	
		公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」				
		数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」				
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	から2 (A)	(A)	100	
			「物理」「化学」 「生物」「地学」	から1 (B)	または (B)		
		外国語	「英語」	(必須)		300	

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を2:1とし、リーディング200点・リスニング100点、合わせて300点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 4) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 5) 「大学入学共通テスト」の合計500点満点とします。
- 6) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 7) 志願書は国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

■ 中期一般選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、第二次学力調査(「個別学力試験」小論文)、調査書、志願書により合格者を決定します。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力試験等教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目			配点	個別学力試験	個別学力試験の配点(試験時間)
		教科	科目	科目選択方法			
中期一般選抜	3教科3科目	国語	「国語」	(必須)		100	小論文 300点 (100分)
		地理歴史	「世界史B」「日本史B」	1科目選択	1科目選択	100	
			「地理B」				
		公民	「現代社会」「倫理」	1科目選択		100	
			「政治・経済」 「倫理、政治・経済」				
		数学	「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」	1科目選択		100	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	から2 (A)		100	
「物理」「化学」 「生物」「地学」	から1 (B)						
外国語	「英語」	(必須)		200			
					計700点(下記5、6、7、参照)		

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を2:1とします。大学入試センターから提供されたリーディングの成績(100点満点)を2倍して200点満点とし、リスニングの成績(100点満点)とを合わせて300満点としてから、200/300を掛けて200点満点に換算します。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 4) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 5) 「大学入学共通テスト」(400)・個別学力試験(300)の合計700点満点とします。
- 6) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 7) 志願書は、国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

■ 学校推薦型選抜 I (一般推薦入学試験)

〈選考方法〉

小論文と調査書・推薦書・志願書の総合判断により合格者を決定します。

- 1) 「小論文」が 70 パーセント、「提出書類」が 30 パーセントの割合で合否判定を行います。
- 2) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 3) 志願書は、国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。
- 4) 出願資格は、評定平均値 3.8 以上とし、CEFR の A2 (英検準 2 級レベル) 以上の英語能力を有する者とする。

■ 学校推薦型選抜 II (従来の IB 推薦)

〈選考方法〉

小論文、及び調査書、志願書、面接等により合格者を決定します。

- 1) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 2) 志願書は、国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。

〈出願資格〉

- CEFR の A2 (英検準 2 級レベル) 以上の英語能力を有する者。
- 日本語 A の取得者で、IB 科目のうち 5 点以上取得した科目が 1 つ以上ある者。

■ 大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜

〈選考方法〉

第一次学力検査(「大学入学共通テスト」)、調査書、志願書により合格者を決定します。第二次学力検査(個別学力試験等)は実施しません。

●大学入学共通テストで受験すべき教科・科目、個別学力検査等教科・科目、及び配点等

日程	必要な科目数	大学入学共通テスト利用教科・科目				配点	個別学力試験	個別学力試験の配点
		教科	科目	科目選択方法				
大学入学共通テスト利用学校推薦型選抜	3教科3科目	国語	「国語」	(必須)		100	課さない	
		地理歴史	「世界史 B」「日本史 B」 「地理 B」	1科目選択		100		
		公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」					
		数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」 「数学 II」「数学 II・数学 B」	1科目選択		100		
		理科	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	から2 (A)	(A) または (B)	100		
			「物理」「化学」 「生物」「地学」	から1 (B)				
		外国語	「英語」	(必須)		300		
						計500点		

- 1) 3教科3科目型の選抜方法を用います。その際、「国語」と「英語」の両方を必須とします。
- 2) 外国語の「英語」は、「リーディング」と「リスニング」の配点比を2:1とし、リーディング200点・リスニング100点、合わせて300点とします。
- 3) 選択の教科・科目について、必要教科・科目数以上受験した場合は、そのうち得点の高い教科・科目を活用します。
- 4) 理科の基礎を付した科目(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)については、2科目の受験で1教科とみなします。
- 5) 「大学入学共通テスト」の合計500点満点とします。
- 6) 志願書は、国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、受験者の適性判断に用います。
- 7) 出願資格としてCEFRのA2(英検準2級レベル)以上の英語能力を有する者とする。

■ 総合型選抜（従来の AO 入試）

〈選考方法〉

小論文、プレゼンテーション、調査書、志願書、面接等により合格者を決定します。

- 1) 調査書は主に、受験者の本学科への適性を評価するのに活用します。また、合格者の入学後の教育にも活用します。
- 2) 志願書は、国際教育学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせ、志願者の適性判断に用います。
- 3) プレゼンテーションは、DP 取得者は課題論文の写し、それ以外の者は特に学んだテーマや探究したテーマについて、事前にその内容を書いた文章を提出し、それについて発表をおこなってもらいます。

〈出願資格〉

- CEFR の A2（英検準 2 級レベル）以上の英語能力を有する者、かつ、以下の（1）から（4）のいずれかを満たす者。
 - （1）IB フルディプロマ取得者または取得見込み者（日本語 A を取得している者が望ましい）。
 - （2）高校入学後、海外留学もしくは海外在住経験が通算一年度以上あり、現地の学校やインターナショナルスクール等で英語による科目の単位取得者。
 - （3）スーパーハイスクールで、特に顕著な学業上または活動上の実績を修めた者。
 - （4）都道府県レベル以上の高校の英語スピーチコンテストや英語ディベートコンテストで 3 位以内に入賞したことがある者。
- 以下の者は、小論文は満点と見なす。

英検準 1 級以上、TOEIC730 点以上（ただし IP テストの Score Report は認めない）、TOEFL iBT（インターネット版）で 79 点以上。